

感動一点の場

『裸婦と犬』
1972年 小川原 脩 画



明るく青い空にぽっかり浮かぶ雲。空の下には横たわる裸婦と口をあぐり開けた犬が描かれています。この作品は1972年に東京日本橋柳屋画廊と札幌時計台文化会館での個展に出品された『裸婦と犬』の連作のうちの1点です。

地面に横たわる裸婦の身体は連なる山のようにおおらかで、犬との大胆な組み合わせでありながらも雲と地面が同じ色調で表現されているため、自然な背景として捉えることができます。画面をよく見ると、犬の足の周辺や裸婦の身体にうっすらと下描きの線が残っています。小川原が最初に描こうとした犬なのでしょう。制作する過程で構図を考えながら完成に至った経緯を読み取ることができます。

北海道の爽やかな夏を感じさせる情景ですが、犬の口からはダラリと赤い舌が出ています。気象庁のデータではこの作品が描かれた1972（昭和47）年に比べると、昨年7月の倶知安の平均気温は1.5度も上昇しています。夏が増えた近年「こう暑くてはたまらない！」と言いたそうな表情にも見えてきます。

文：金澤 逸子（小川原脩記念美術館 学芸スタッフ）

ふる探訪

写真に見るちょっと昔の倶知安一町民大運動会

507回

盛大な入場行進、玉入れ、障害物リレー。これは、1967（昭和42）年の「第9回町民大運動会」の一場面です。

町民大運動会は、1950（昭和25）年に第1回が開催されました。その後、1958（昭和33）年の第8回大会を最後に一時中断されていましたが、8年ぶりに復活。会場になった倶知安中学校のグラウンドには、選手や応援の町民、およそ4千人が一堂に集いました。

競技は町内会を基準に町を28の地域に分け、地域対抗の形式で行われました。リレーや玉入れといった対抗種目のほかにも、幼児競争や盆踊りなど、年齢を問わず町民全員が楽しめるプログラムが数多く組まれていました。

町民大運動会は、毎年7月の第一日曜日に開催され、1993（平成5）年の第34回大会まで続きました。

文：紺谷 貴之（倶知安風土館 学芸補助員）



町内会の旗を先頭に堂々入場



開会式
壇上は吉田富美雄町長



地域対抗玉入れ競技
写真奥は北陽小学校旧校舎



親子でたすきをつないだ
障害物リレー

展覧会のお知らせ

■第1展示室

小川原脩展「私の中の原風景」
会期：開催中～8月24日(日)

■第2展示室

小川原脩セレクション「Humans & Animals」
会期：開催中～7月6日(日)
しりべしミュージアムロード共同展「絵描きたちの昭和」
会期：7月12日(土)～9月23日（火・祝）

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

ギャラリートーク しりべしミュージアムロード共同展
当館のテーマ「画家たちの旅 昭和45年」
日時：7月12日(土)14時～14時30分
会場：第2展示室（無料）※予約不要
講師：金澤逸子（学芸スタッフ）

■ミュージアム・コンサート

しりべしミュージアムロードコンサート2025
「移ろう時代と音楽の旅」
日時：7月26日(土)11時～11時40分
会場：ロビー（無料・先着70席）※予約不要
出演：ピリカネージュ 高梨優希さん（トランペット）、
永岡涼子さん（マリンバ）、小野寺百音さん（バイオリン）

倶知安風土館のお知らせ

■寺子屋ミュージアム（全て要予約・倶知安風土館☎22-6631）

「めざせ！昆虫標本マスター①～入門編～」
日時：7月20日(日)13時30分～16時 場所：倶知安風土館
定員：10名 講師：小田桐亮（風土館学芸員）
予約受付：7月13日(日)まで ※昆虫は用意します（持込可）

「ライトアップで夜の虫たちに会おう」
日時：7月21日（月・祝）19時～21時 場所：百年の森公園
定員：20名 参加料：250円（保険料）
講師：小田桐亮（風土館学芸員）、岡良則さん（北海道昆虫同好会会員） 予約受付：7月14日(日)まで

「めざせ！昆虫標本マスター②～応用編～」
日時：7月27日(日)9時30分～16時30分 場所：倶知安風土館
定員：10名 参加料：250円（保険料）
講師：小田桐亮（風土館学芸員）、岡良則さん（北海道昆虫同好会会員） 予約受付：7月21日（月・祝）まで

■倶知安いきもの調査隊「引き抜け！オオハングウソウ」

日時：7月26日(土)9時～12時（少雨決行） 場所：百年の森公園※予約不要
講師：小田桐亮（風土館学芸員）、広川大恒（百年の森管理人）



小川原脩記念美術館 ☎21-4141
観覧料：一般 500円（400円）
高校生 300円（200円）
小中学生 100円（50円）
倶知安風土館 ☎22-6631
観覧料：一般 200円（100円）
高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時
入館は16時30分まで
※（ ）内は10名以上の団体料金
7月の休館日 毎週火曜日、展示替えのため
美術館のみ7日(月)～11日(金)
12日(土)は展覧会初日のため美術館観覧無料、
17日(木)は「道みんの日」のため両館観覧無料、
25日(金)～8月31日(日)は夏休み期間のため、
美術館小中高生観覧無料

特定外来生物

特定外来生物という言葉に耳にされたことのある方も多いと思います。

町内にもオオハングンソウやオオキンケイギクといった植物、セイヨウオオマルハナバチやアライグマといった動物など多くの特定外来生物が生息しています。これらの生物は生態系や人の生活環境に特に悪影響を及ぼす恐れがあることから、町ではアライグマに関する情報を募集していたり、風土館では『倶知安いきもの調査隊』の活動として5月にセイヨウオオマルハナバチの採集調査会を開催したりしています。また7月には、オオハングンソウの引き抜き作業を実施する予定ですので、ぜひご参加ください。今年は陸上自衛隊倶知安駐屯地の皆さんにも参加いただき、大々的に行う予定です。

特定外来生物を増やさないためにも「きれいだから」と庭に植えたり、「かわいいから」と餌をあげたりするのはやめましょう。

館長 高橋 淳之